

ポタポタぴちゃん！

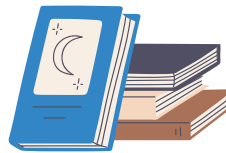
中垣 ゆたか：作・絵 / 岩崎書店

しずくの「ポタポタ」「ぴちゃん」、シンバルの「バーン!」。すべて、オノマトペ(擬音語・擬態語)で描かれた絵本です。ページをめくるたび、音が重なって少しずつにぎやかになっていきます。ぜひ、声に出して読んでみてください。



市民図書館所蔵

おすすめの本



世界思い出旅ごはん おかわり

～屋台・食堂・宿ごはん

地元の味を食べ歩き！～

低橋：著 / 主婦の友社

旅好きな作者が世界各地の屋台・宿・食堂で食べた、変わった料理やおしゃれな料理、自宅で再現可能な料理を写真とイラストで魅力的に紹介しています。現地で食べたときのエピソードやミニ情報があり、自分が旅行に行った気分になります。



「秋の読書週間」イベント

無料

● 図書館からの挑戦状(クイズ)

時 10月24日(金)～11月6日(木)

● 一般書のリサイクルフェア(無償配布)

時 10月25日(土)・26日(日)

※10月10日(金) 午前9時30分から日時指定整理券配布

● おはなしの世界へようこそ (読み聞かせボランティア発表会)

時 11月2日(日) 午後2時～3時

● 図書館活用講座

時 11月3日(月) 午後2時～4時

● THE 座談

(フランス革命に関する本を語る場)

時 11月12日(水) 午前10時～正午

詳しくは、市民図書館☎をご覧ください。
るか、市民図書館☎576-8241へ。



シリーズじんけん 人の生き方を考える 562

ひとりの行動が

ぼくとタロウ(仮名)は電車で隣同士に座り、テスト対策のために参考書を黙々と暗記していた。だんだんと混み合ってきて「今日は何だか人が多いなあ」と話していると、こどもの泣き声が響いた。

声の方向を見ると、大荷物を抱えた女性がベビーカーに乗せた赤ちゃんを何とかあやそうと声を掛けていた。けれども、泣き声は大きくなるばかり。赤ちゃんは泣き止むとはとても思えなかったし、女性も困り果てた様子だった。タロウがため息をつきながら「集中できないな」とひそひそ小声でぼやき、ぼくも「どうなるんだろうね」と続けた。

すると、女性のすぐ近くの席に座っていた男性がゆったりと立ち上がった。何か言われるに違いないぞと思いながら見てみると、男性は「お母さん、ここに座ってこども抱っこしてあげて。ベビーカーはわたしに任せて、荷物もここに載せて。大丈夫だから」と優しく声を掛けた

のだ。女性はほっとした表情になり、それを見ていた周りの人たちの雰囲気も一気に柔らかくなった気がした。自然な行動が何だかとても格好良くて、ぼくとタロウは、気まずくうつむいたまま、到着駅まで無言だった。

その日の放課後、ぼくとタロウは駅までの道のりを歩きながら「今朝の電車での事が1日中頭から離れなかったんだよな」「ぼくもあんなふうになれるかな」なんて話していたとき、地図を眺めながら困っている様子の年配の人とすれ違った。

「どうする…?」「勇気いるけど声掛けてみようか」「そうだな『何かお手伝いできることはありますか』で、いいよな?」ぼくたちはうなずき合った。来た道を戻りながら、2人で年配の人の背中を追いかけた。

相手の立場を考えた行動が、誰かの心を動かし、誰もが生きやすい社会をつくるきっかけになるかもしれません。



大分市が舞台の短編映画

「デイズ～かけがえのない日々～」が公開!

市では、映像作品を通して市の魅力を全国へPRするために、市内のロケーションを活用した映画やドラマの制作をサポートしています。

今回は、市が舞台の短編映画「デイズ～かけがえのない日々～」をご紹介します!



大分市で生まれ、都会で働く主人公が大分に帰省し、豊かな自然や歴史の息づく風景、人のあたたかさに触れて、自分たちが生きている日々こそが、かけがえのないものと気付く物語。

大分市を舞台に短編映画を製作することになったきっかけは?

長く仕事をする中でいつか大分で作品を作りたい、大分の人たちに演技の楽しさを知ってもらいたいという思いがありました。そんな中、大分での映画製作の話をいただいたことがきっかけでした。

「デイズ～かけがえのない日々～」の見どころは?

佐賀関の海岸や野津原の石畳、うみたまご、商店街などさまざまな場所で撮影した大分市の魅力的なロケーション



大分市出身。1972年1月23日生まれ。日本工学院専門学校放送芸術科を卒業後、映画、テレビドラマなど数多くの作品の演出を手がける。

はもちろん、人と人とのつながりの大切さや家族愛、ふるさとのあたたかさを感じることができる作品です。

大分市で映画を撮影して改めて感じた「大分市の魅力」は?

撮影する中で、何気ない暮らしのそばにある素敵な風景や大分の人々のあたたかさを身近に感じることができました。映画を通して多くの人に届いてくれると嬉しいです。

映画の公開日時など詳しくは▶



市ロケーションオフィス ☎578-7749

編集担当より

今号の表紙は、巻頭で特集した、暮らしを便利にするデジタルを活用したサービスの様子を撮影しました📷😊
こどもルームでは、元気いっぱい兄弟とそのお母さんに協力してもらいました。スマートフォンを使ってスムーズに入場できると、こどもたちにとっても早く遊べて嬉しいのかな、と感じました👧👦

デジタル、というと身構えてしまいがちですが簡単な操作でできることも多かったです。
ぜひ、一度試してみてください👉🎵



撮影の様子

佐賀関さばふりかけ▶

ピーマン とうじ 糀▼



市報クイズ

大南地区に完成する、スポーツ施設の名前は? 「南部スポーツ○○ひろば」

ヒントは、この市報の中にあります。

正解者の中から抽選で、市ブランド認証加工品「Oita Birth」から「ごはんのお供セット」を3人にプレゼント!
※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

スマホはがき 右の二次元コードから応募してください。
はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、10月15日(水)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



9月号「市報クイズ」の答え
10月3日(金)から始まる、市美術館の特別展は?

「Meet Bamboo! 丘の上のコレクションと竹との出会い」